

第3号議案（2024年度理事会決議報告）

（1）2025年度事業計画（2025年3月27日第49期第8回理事会で決議）

「2025年度事業計画」

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

定款第5条の事業目的達成に向けて努力するとともに下記の事業の推進に努める。

また、事業運営にあたってはDXを推進し一層の効率性を追求する。

1、本会の発展に向けて

2025年度は、本会の一層の発展と継続を目指し、会員の拡大と新規事業開発を大きな柱として事業を実施する。

- ① （会員拡大）映像コンテンツ事業の様々な変化に合わせ、本会は、従来のように映画会社・放送局が中心となって運営されるだけでなく、多様な映像コンテンツ制作者が幅広く参加できる団体が変わっていく必要があり、ネットメディアや全国各地のメディア、制作プロダクションからの会員加入の拡大を図る。
- ② （新規事業開発）日本の映像コンテンツ事業の底上げをめざすため、本会事業の目的の一つに「プロデューサー人材の発掘と育成」をきっかけ、新たな事業開発を試みる。そのために新たに委員会を発足させ、現在の事業を検証し、いくつかの新事業を企画または試行する。

2、開催事業

① エランドール賞の開催（顕彰事業）

伝統と格式を誇る、当会の大事業の一つであるが、前回の式典の成果、および、改革プロジェクトでの議論を踏まえ、有料化を前提に、適切な規模・態様の開催を目指す。また、2025年度からは、配信会社が製作したコンテンツをエランドール賞の候補に加えることとする。

② 国際ドラマフェスティバルへの参加・協力（支援事業）

受賞作品の一時作品の選考や、フェスティバルの運営をサポートして、ドラマの国際競争力向上に努める。

③ プロデューサーズ・カフェの実施（研究調査事業・人材発掘、育成事業）

芸術文化活動面で、顕著な活躍をしたヒットメーカーや各賞の受賞者、有識者を招き、シンポジウムや本会会員との意見交換の場としてのミーティングを行う。昨年度は本会会員のみを対象としてきたが、今後は、本会の人材発掘、育成事業の一環と位置付け、2025 年度は、プロデューサーを目指す人たちに対して公開する有料のセミナーを試行する。

④ アクターズセミナーの実施（人材発掘、育成事業）

有望な俳優の発掘を目指すセミナーとして、各社、各局が選任した監督・演出家が、応募した新人俳優に対し、具体的な指導を行う。2025 年度は、昨年度と同様に数十人の参加を募り、有料で実施する。アクターズセミナー賞受賞者は、エランドール賞授賞式で表彰する。また、VIP0（映像産業振興機構）とも連携し、新人俳優と新人監督の交流の場を設ける。

⑤ 著作権への取り組み（研究調査事業）

制作会社の著作権のありよう、フリーのプロデューサーの権利のありようなど、今後の映像コンテンツ業界全般の発展を見据えた取り組みを検討する。

3. 会員サイトの充実と交流の推進

本会会員限定サイトの参加者の増加を目指す。デジタル編集委員会が中心となり、会員相互の意見交換や新作の紹介、映像関係者（キャスト・スタッフ）へのインタビュー記事などを定期的に掲載するとともに、プロデューサー業務に役立つ情報をサイト内に集約するなど、有用性をいっそう高め、とくに若手・中堅会員の参加を促進する。

4. 映像関係団体との連携

現場（映画・テレビ業界）の作業環境の改善とハラスメント防止対策を関連団体と連携し、前進させる。

5. 支援活動

- ① 全国フィルムコミッションの活動を支援し映像文化の発展に努める。
- ② 日本アカデミー賞、毎日映画コンクールなど、各種映像関連事業に委員を派遣し、積極的な支援を行う。

6. 記録保存活動

協会事業のエランドール賞の動画による記録を保存する。

7. 親睦交流活動

春秋の親睦ゴルフ会を実施する。また、会員の交流の促進を図るため、新たな親睦イベントの実施を図る。

8. 総務関連

- ① 事務局業務等、従来の管理業務を検証し、いっそう効率的な運営を目指す。
- ② DX を推進し、会員への連絡を段階的に e-mail に変更するとともに、2025 年度中に会報のデジタル配信の試行を開始する。